

研究対象者の方へ

「在留外国人の言語障壁による医療アクセス困難と
健康格差に関する横断研究」
についてのご説明

第2版

作成日：2024年12月17日

順天堂大学大学院医学研究科

グローバルヘルスリサーチ研究室

研究責任者：湯浅資之

1. はじめに

この研究は、順天堂大学の医学部医学系研究等倫理委員会の審議にもとづいて、研究機関の長の許可を得ています。研究に参加するか、しないかは、あなたの自由な意思で決めて下さい。参加しなくても、あなたに不利益はありません。

説明の中には少しわかりにくい部分もあるかもしれません。わからないことや不安なことは、研究担当者に聞いてください。

2. この研究の目的

この研究では、日本に住む、日本語が母国語ではない方に、日本の医療へのアクセス、健康意識、日本での生活などについて質問します。

研究の目的は、日本語をうまく話せない人は、病院に行くことがどれだけ大変か、健康格差があるか、どうすれば病院に行きやすくなるかを示すことです。この研究を通して、みんなが安心して病院に行ける社会づくりに貢献することを目指します。

3. この研究の方法

アンケートの調査とインタビューの調査を行います。

インタビュー調査は、アンケート調査に回答した方のなかで、インタビューに協力できる一部の方を対象に行います。6～7人のグループで、アンケートのお答えについてもう少し詳しく、お一人お一人の体験や考えを話していただきます。

4. この研究の対象となる方について

この研究に参加いただける方は、次のぜんぶに「はい」の方です。

- (1) 18 歳以上の方
- (2) 日本語が母国語ではない方
- (3) 日本に住んでいる方

5. この研究への予定参加人数について

この研究は、研究実施許可日～2027 年3月31日の期間で実施します。

アンケート調査は 500 名、インタビュー調査は5～6グループ（合計 30～42 名）の方に参加をお願いする予定です。

6. この研究への参加により予想される利益と起こるかもしれない不利益

＜予想される利益＞

参加する方に直接の利益はありません。しかし研究の成果によって、将来、日本に住んでいる日本語が母語でない方が、病院に行きやすくなることに貢献できる可能性があります。

<起こるかも知れない不利益>

この研究では、参加する方の不利益になることはありません。

7. この研究中に、あなたの健康に被害が生じた場合について

この研究によって、参加した方の健康が被害を受けることはありません。

8. 研究への参加の任意性について

この研究へ参加するかは、あなたの自由意思で決めてください。研究の参加に同意しなくても、あるいは途中で参加をやめても、あなたに不利益なことはまったくありません。

(1) アンケート調査に参加される方

アンケートの途中で、回答したくなくなった場合、回答をやめて大丈夫です。

(2) インタビュー調査に参加される方

インタビュー調査では、参加に同意した後、インタビューが始まるまでは同意を撤回する（参加をやめる）ことができます。また、インタビューのあいだ、質問に答えたくない時は答えなくて大丈夫です。

研究の記録のために、インタビューは録音、録画、写真撮影をさせていただきます。これらはいつでも断ることができます。録音、録画、写真撮影を断っても、あなたに不利益なことはまったくありません。

ただし次の場合、私たちは、あなたから収集したデータを削除することができません。

- (1) 個人情報を収集していない場合
- (2) 同意の撤回を受けた時点で研究論文として発表されている場合
- (3) 完全に匿名化され個人が特定できない場合

9. この研究に関する情報の提供について

インタビュー調査への参加を決めたあと、あなたの参加の意思に影響を与えるような情報があったときは、すぐにお知らせします。

10. 個人情報等の取扱いについて

収集した情報を取り扱う際は、調査に参加した方の個人情報とは関係ない研究用 ID を使用して管理し、参加した方の秘密保護に十分配慮します。

(1) アンケート調査について

紙のアンケートの回答は順天堂大学国際教養学部の研究室内のカギのかかるロッカーできびしく保管します。オンラインアンケートの回答と紙のアンケートをデータにしたものは、パスワードで管理された大学のクラウドストレージできびしく保管します。

アンケート調査では、インタビュー調査に参加できる方の連絡先を聞きます。この連絡先はインタビュー調査の連絡のためだけに使います。また、アンケートの回答データは、誰が答えたかわからないように連絡先を消して、番号で管理します。

インタビュー調査に参加できる方のみ、アンケートの番号と連絡先を書いたリストをつくります。このリストはアンケートの答えとは別に、パスワード管理された大学のクラウドストレージで、きびしく保管します。また、このリストはインタビュー調査のためだけに使います。

(2) インタビュー調査について

インタビューの内容を文字にしたテキストデータでは参加者が誰かわからないように匿名加工します。

映像と音声のデータおよびインタビューの内容を文字にしたテキストデータは、パスワード管理された大学のクラウドストレージできびしく管理します。

また、「12. あなたの費用負担について」に書かれた負担軽減費（謝礼）の受け取りには、あなたの名前や連絡先等の個人情報が必要です。この個人情報は調査内容とは別にうかがい、謝礼の支払いのみに使用します。

なお、研究が終わったあと、アンケート調査とインタビュー調査で収集したデータや書類は10年間保管したのち破棄します。このとき、個人が特定されないよう十分に注意します。

この研究で得られた成果は、公衆衛生学雑誌などに公表されることがありますが、あなたの名前などの個人を特定できないようにします。

11. 研究に参加した場合の留意事項について

アンケート調査ではできるだけすべての質問に答えてください。

12. あなたの費用負担について

研究に参加することによる費用の負担はありません。

アンケート調査とインタビュー調査では、ご参加いただいた方に、時間的な負担が予想されます。このため、アンケート調査ではご希望の方に、インタビュー調査ではご参加者全員に負担軽減費（謝礼）をお支払いします。

13. 利益相反について

この研究は、日本学術振興会の科学研究費（科研費）および研究奨励金の助成を受けています（課題番号：24KJ1981）。そのほか、企業からの資金の提供（研究のお金をもらうこと）はありません。

つまり、研究者は研究を、企業から独立して計画して実施しており、研究結果および解析等に企業等が影響を及ぼすことはありません。この調査の研究責任者および研究者は、「順天堂大学医学系研究利益相反マネジメント規程」および「人を対象とする医学系研究に係る利益相反に関する標準業務手順書」に従って、順天堂大学医学部医学系研究利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査を受けています。なお、この調査の結果が特許権等の知的財産を生み出す場合、その帰属先は大学・研究者に帰属し、調査に参加した方には帰属しません。

14. データの二次利用について

この研究のために集めたデータを別の研究に利用する場合があります。この研究に参加するときに受けた説明の目的・項目の範囲を超えて、将来、データを利用するときは、倫理審査委員会の審査を受け承認を得たうえで、本学のホームページなどでお知らせいたします。

また、二次利用するデータでは個人情報をすべて削除し、完全に匿名化します。このため、二次利用において、あなたのデータを特定し削除することができません。

15. いつでも相談窓口にご相談ください

この研究について、知りたいことや心配なことがあるときは、いつでもご連絡ください。

【相談窓口】

順天堂大学大学院医学研究科グローバルヘルスリサーチ研究室

〒113-8421 東京都文京区本郷2丁目1番1号

電話：03-3813-3111

研究責任者 湯浅資之